

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓		その日の人数に応じて、一つの部屋で活動したり二つの部屋にしたり工夫している。	"定員10名に対して、施設の床面積が88.00㎡である為、基準を満たしている"
	2	職員の配置数は適切であるか	✓		利用希望を取り、利用者の人数に応じて職員の配置を行い、スタッフ1名に対し利用児1～3名で支援にあたっている。	第二訓練室は、職員が利用児について支援するのではなく利用児に合わせて職員が配置を考えていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		✓	階段などは、誰と一緒に降りるのかなど事前の打ち合わせで決め、転倒防止やけが防止に努めている。	階段があるが、手すりが設置されている。また、昇降時は必ず職員が利用児に付き添い、転倒防止に努めている。室内もまちづくり条例に則った内装を施しているため、段差が少なく、通路が広い。第二訓練室は、段差が多いため、転倒の恐れがある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	✓		朝礼や日々の打ち合わせ、昼礼、フィードバック時に出た課題を話し合い検討する。PDCAサイクルを活用して広く職員が参画するようにしている。	朝礼にて前日の支援の状況や面談の報告、保護者からの連絡事項等共有している。また年間担当からの指導をもとに支援を行い日々の打ち合わせとフィードバックを行う事でその日の支援を振り返り、改善を目指している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓		保護者向けのアンケートを実施し、スタッフで会議を行い、PDCAサイクルを活用して業務改善に繋げている	年1回の保護者へのアンケートの実施、スタッフの自己評価を基に業務改善の対策等話し合いを行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓		当社ホームページにて公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	✓		外部からの見学を多く受け入れている。また外部講師を招いてのカンファレンスを通して、実際の支援に対する指導や研修の理解度に対する評価を受けている。	リモート参加などを増やして、外部からの評価を受ける機会を増やす。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓		定期的に資質向上研修を行い、資質の向上に繋げている。また、外部の研修にも積極的に参加している	研修前に資料を渡し、事前に勉強したのちに研修を受けるようにして、研修の効率を上げている。また不参加のスタッフにも資料を渡し、レポートを提出してもらっている。外部の研修にも積極的に参加している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓		日々のアセスメント、利用時の要望、保護者の要望の聞き取りを行い支援計画の作成を行っている。必要があれば作業療法士、言語聴覚療法士の専門的な分析も含めて作成をしている。	NCプログラム、デンバー、Vineland IIアセスメントツールを使用し、また、利用児、保護者のニーズとも加味しながら計画を作成する。身体的・言語的な専門的な分野ではST、OTの助言をもとに作成する。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓		NCプログラム、デンバー、Vineland II、作業療法評価、言語聴覚療法評価を使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓		支援ユニットを作りプログラム担当職員を中心として話し合い内容を決めている	コロナ渦では、感染予防をして行えるクッキングなどに取り組んだ。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓		月に一度のユニット会議で話し合って検討している	今後は、施設見学などの外部での活動などを検討する。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓		その日の滞在時間や天候などを意識した上で課題設定している		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓		利用時の発達に合わせた生活社会性・学習・作業・運動・個別活動・集団活動を取り組んだ支援計画を下にアセスメントを取り、PDCAサイクルを活用して作成している	アセスメントをベースに、個別支援計画を作成し、本人に合った支援計画を作成している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼で全体の情報を周知している。また、休みの職員も周知できるように「朝礼ノート」を活用している。</li> <li>・各事業所では、「打ち合わせノート」を活用し、その日の気を付けるべき点などいろいろな視点で話し合い支援の内容や役割分担を決め安心して支援ができるように努めている。</li> <li>・パートタイムの職員には、特性シートや特記事項などを簡潔にまとめたものを用意しすぐに情報を得られるようなツールを使用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼で全体の情報を周知している。また、休みの職員も周知できるように「朝礼ノート」を活用している。</li> <li>・「打ち合わせノート」を活用し、その日の気を付けるべき点などいろいろな視点で話し合い支援の内容や役割分担を決め安心して支援ができるように努めている。</li> </ul>	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「打ち合わせノート」を使用して、その日の振り返りを行っている。課題が出た際には、振り返り時に情報を共有し次回への対策へつなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「打ち合わせノート」を使用して、その日の振り返り時を行っている。また、気づいた点などを上げ次回の改善へと繋げる</li> <li>・必要事項は朝礼で情報共有を行い周知する。</li> </ul>	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓		日々、一人一人の支援計画に沿ったケース記録を記入している。日々、振り返り、検証し改善に繋げている。	個別支援計画に沿ったケース記録フォームを作成し、支援後に記録を取っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓		個別支援計画ケア会議を行い、半年に一度モニタリングを行っている。	個別支援計画ケア会議には年間担当だけでなく、スタッフ全員で参加し、モニタリングを行う。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	✓		毎年4月に職員全員でガイドラインの読み合わせを行い、定期的に振り返りを行い共通認識のもと支援を行っている。		
	関係	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓		年間担当を主に児童発達管理責任者も参加し、利用時の情報を共有している。	基本的には年間担当が参加している。
		21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校送迎時などに、利用児の様子、学習進度、学習方法などを伺い情報を共有している。</li> <li>・送迎時に遅れそうなときには、事前に連絡をする。また、4月には、新しい学校などには挨拶に行き、事前に送迎のやり方などを聞いておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校送迎時などに、利用児の様子、学習進度、学習方法などを伺い情報を共有している。</li> <li>・送迎時に遅れそうなときには、事前に連絡をする。また、4月には、新しい学校などには挨拶に行き、事前に送迎のやり方などを聞いておく。</li> </ul>
		22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	✓		現在、医療的ケアが必要な利用児がいない。必要となったら、主治医との連絡体制を整える。	・アレルギー等については、リストを作成している。てんかん発作等に関しては、記録を残し、保護者にも伝達している。
		23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	✓		サポートブックなどを活用し、理解に努めている。	

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	✓		引継ぎシートを作成し、保護者の方へお渡ししている。保護者を通して渡してもらっている。	・引継ぎシートを作成し、保護者を通してお渡ししている。 ・今後は、課題整理表や就労準備性シートも一緒にお渡しする。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓		コロナ以前は、対面での研修の参加、期間コンサルテーションを行い、ゆうゆうセンターなどの助言・指導を受けていたので今後も検討したい。	コロナにより実施できていないが、定期研修への参加に加え、毎年機関コンサルテーションを受けたりネットワーク会議に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		✓		コロナの感染者数が落ち着いている時期には、地域の公園に行き、近所の子ども達と一緒に遊ぶ事がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		✓	実際に挨拶に行き、困った時などに連携が取れる関係を築いている (挨拶予定)	・左記機関とのやり取りは多いので、引き続き連携していく。 ・会議への参加要望があれば積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓		送迎時や連絡帳、必要があれば電話で様子を伝えている。半年に1回のモニタリング面談にて、支援内容を確認している。	適宜、送迎時やお便り帳などで情報を共有している。 ・半年に1度モニタリング面談を行い、支援内容を確認して取り組んでいる。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	✓		おやこっしーにて研修を行っている。感染症予防の為にリモートでの開催をしている。	おやこっしーにて研修を行っている。内容を検討し、より参加しやすい形を考える。(ペアレントトレーニング・ABA・構造化)
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓		利用を始める前の契約の際に、時間を設け、丁寧に説明を行っている	利用を始める前の契約の際に、時間を設け、丁寧に説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓		必要に応じて、お便り帳や送迎時、電話にて助言を行いその後のフィードバックもやっている。	必要に応じて、お便り帳や送迎時、電話にて助言を行いその後のフィードバックもやっている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓		不定期ではあるが、感染を気にせず安心して行えるようにリモートでおやこっしー(保護者の会)の研修を行っている。	リモートでおやこっしー(保護者の会)をしている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓		苦情受付窓口や対応について説明・掲示している。又、気になる事があった場合は迅速に対応している	苦情受付窓口や対応について説明・掲示している。又、気になる事があった場合は迅速に対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓		ホームページやFacebook、メールにて情報発信をしている	ホームページやFacebook、メールにて情報発信をしている
	35	個人情報に十分注意しているか	✓		・個人名は、伏字にしている ・写真を送る際には、細部まで気を付けて個人情報などが漏れないように気を付けている。	・個人名は、伏字にしている ・全体メールの送信の際には、第三者にも確認して送信するようにしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓		・構造化、ペクス、スケジュールを使用して一人一人に合ったツールで支援を行っている。 ・取り組んでよかったものなどは、家庭でも取り組んでいけるように情報を提供している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		✓	緊急事態宣言が明けたので、今後活動の一環として清掃活動・地域交流で日頃の感謝を伝えに作成したものを渡すなど検討していきたい。	コロナの状況次第で再開する予定。招待をする事が無い為、今後活動の一環として検討して行きたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓		警察署の担当者による防犯指導、福岡市災害対策課担当による防災・避難指導を事業所内研修で実施している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓		・年間の計画を立て、様々な災害を想定して訓練を行っている。 ・職員だけの訓練も行い、実際の災害に向けてよりスムーズにいくよう取り組んでいる。	年間の計画を立て、様々な災害を想定して訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓		利用時の様子を見て必要があれば、具合などを確認し記録を取り周知する。	虐待防止委員会を設置し、虐待防止についての研修を行った。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	✓		自傷行為や周りの利用児の怪我・事故に繋がる恐れのある場合は、制止する事を支援計画に記載し、保護者の了承を得ている	自傷行為や周りの利用児の怪我・事故に繋がる恐れのある場合は、制止する事を支援計画に記載し、保護者の了承を得ている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓		・アレルギー対応届を基に、おやつを提供している。 ・おやつ表を作成し、アレルギーの有無を毎日朝礼で共有している	アレルギー対応届を保護者に書いてもらい、スタッフ間で共有している
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓		ヒヤリハットノートを活用して、職員全体で周知している。	朝礼・昼礼で伝達もするが、ノートの活用して周知する。	